

平成23・24・25年度高知市研究協力校研究発表会「教育方法」 高知市立一宮中学校 研究テーマ「学力向上のための授業改善」

研究主題 「人の話が聴け、自分の思いを言葉にできる子」

学力向上のための授業改善

一宮スタイルの授業づくり

指導と評価の一体化

学習基盤の確立

家庭学習習慣の確立

★生徒と生徒をつなぐ
★生徒と教師がつながる
★生徒と教材をつなぐ

「つなぐ」を手立てに

小中連携のめあて

「心と体で話をきこう」
・話している人の顔を見ながらきこう。
・相手の気持ちを考えながらきこう。
・あいづちをうちながらきこう。

授業観点を明確にした
「J-UPシート(授業力向上シート)」の活用

具体的な方策と取組内容をまとめた
「J-UP(授業力向上)Book」の活用

研修の充実

一人ひとりの教師の指導の
工夫の共有化を図る



教師側

生徒側



観点別によさや
改善点を記入

全員の生徒が
学んできたかについて記入

本時の学習課題(発問等)が
適切であったについて記入

改善点

①全員の生徒が学んできたか？

- ・ポイントとなる生徒(キーマン)をどうひっぱり動かかし、ひきつけ方が課題である。
- ・ポイントの生徒に意図的にあてたり、要所要所で発言をひいあげたりするとよかった。
- ・グループで声かけができ、話し合いができていた。

②本時の学習課題(発問等)は適切であったか。(具体的に書いてください)

- ・読み取りの課題としては適切だったと思います。(生徒の力より高いレベルでした)
- ・単語がわからない中でも協力して調べることができていた。

J-UP
授業力向上Book

高知市立一宮中学校
平成24年度1月作成

教師がしゃべり過ぎない。課題について、思考・判断し意見をつないで話し合うために、つなぎの言葉を精選していく。(まとめる、付け加える、言い換える、仮定する、話題を広げる、変える、話し合いの幅を広げる等)

学習におけるPDCAサイクルを生徒に意識させるため、国語学力向上対策シートを持たせて、自分の課題に沿った内容で勉強させる。

1年生公開授業

「つなぐ」視点を大切にしたい一宮スタイル

生徒と生徒をつなぐ

生徒と教師をつなぐ

生徒と教材をつなぐ



<全体的な視点からの参加者の感想>

- ・ 研究主題を達成するための手立てが、各教科の指導案に具体化されている。
- ・ J-UP・BOOKやJ-UPシート等一つの方角に向かって組織で動いている様子が分かった。
- ・ 小中連携の研究体制の構築が図れている。(学習規律、きくこと)



「人の話が聴け、自分の思いを言葉にできる子」

平成23・24・25年度高知市研究協力校研究発表会「教育方法」

講話 「人の話が聴け、自分の思いを言葉にできる授業づくり」

講師 倉知 雪春先生(元小牧市立応時中学校校長)

段階的指導の必要性

◎ 話す行為は聴き手との関係で変化する。

- ・ 聴かないことを嘆くのではなく、子どもの意欲を育てる手立てを！
- ・ 一足飛びに実現は困難
⇒ 褒めて伸ばす、めあてを1つ1つ
- ・ 目の前の子どもの現実を見て積み上げる。

教師が聴く手本を示すことが大切！

何よりも「聴きたい」という意欲を生み出すことが必要！

話し手の顔を見て聴くために・・・
教師のポジションと褒める言葉を！

教師は多様な考えを引き出す発問を！



段階	聴くこと	話すこと
第1段階	聴く意欲をつくる	安心して話せる雰囲気をつくる
第2段階	聴き方を磨く	話す意欲と話し方を高める
第3段階	子どもの考えから出発する授業への転換	連続発言ができる力を育てる
第4段階	話題からそれない話し合いにする	かかわり合って発言ができる力を育てる

こんな聴き方、話し方の教室を！

- ☆ クラスの中で沸き上がった課題に集中している。
- ☆ 子どもたちが、柔らかいトーンの声で語りかけている。
- ☆ しっとりとした表情で聴き合っている。



他者とともに学び合う喜びを子どもとともに創り出す。
その基盤は、
「聴くこと、話すこと、話し合うこと」です！

<参観者の感想>

- ・ 相手を意識した話し方や話型の指導について、自分自身が悩んでいた部分だったので、今回の講演で解決の糸口を見つけることができた。
- ・ 聴く意欲を高めるためには、まず教師が手本になること、そして、聴き方を磨くこと、話すことについては、話す意欲と話し方を高めるために、どの子にも話す機会を与えていくことを意識して行っていきたいと思った。
- ・ 「聴く」「安心して話せる」授業規律の徹底が大切だなと感じた。定着するまで諦めず根気よく取り組み、定着したら次のステップに進むというように系統性をもって取り組む必要性を感じた。また、教師が手本になることを忘れてはいけないことを再認識した。
- ・ 小学校での取組のよいところを中学校でも引き継いでいくという9年間を見通した一宮中学校区の取組が参考になった。